

令和 6 年度（2024 年度）第 2 回
箕面市立図書館協議会会議録

箕面市立図書館

1 日 時 令和7年(2025年)2月19日(水)
開会 午前10時 閉会 正午

2 場 所 箕面市立中央図書館 2階 視聴覚室

3 出席委員 渡邊 智山 会長
日根 真理 副会長
森 美由紀 委員
山下 純 委員
鳥崎 路子 委員
細江 祐子 委員
増田 友美 委員

4 傍聴者の有無 なし

5 出席職員 大迫 美恵子 中央図書館長
小松 紀子 東・小野原図書館長
巢組 裕子 桜ヶ丘図書館長
廣瀬 武 西南図書館長
檜原 啓一 船場図書館長
坂上 未希 中央図書館室長補佐
渡部 笑歩 中央図書館職員

6 議事日程

日程第1(案件第1号)

施設利用者アンケートの実施について

→施設利用者アンケートの主な意見と対応方法について各館館長より
説明。

→意見交換

日程第2(案件第2号)

令和7年度の主要事業について

→令和7年度当初予算案の概要説明

日程第3(案件第3号)

その他

【会議次第】

日程第 1（案件第 1 号）

施設利用者アンケートの実施について

事務局より中央図書館のアンケート結果について説明

- 会 長 : アンケートで「本が探しにくい」という意見がある一方で、職員の対応は満足であるという回答が多い。どこに改善の余地があるのか。
- 事務局 : 図書館の利用の仕方は人それぞれで、職員には聞かずに自分で目的の本を探したいかたもいれば、特に目的の本はなく、日頃自分が手に取らないような本に出会いたいというかたもいる。中央図書館のリニューアル時に、展示コーナーなどでいろいろな本に出会えるような取り組みを行い、必ずしも本が分類順に並んでいないため、探しにくい面がある。検索してさがすかたが探しやすいのは、きちんと分類順に並んでいることだと思うが、どちらが良いかは悩ましい。
- 委 員 : 有料でもいいのでスマホの充電装置が欲しいという意見があった。現代はスマホが必需品である。充電装置やプラグを持ち歩いている人は少なく、図書館の滞在時間も長いので充電装置があればありがたい。
- 事務局 : 2階に充電できるパソコンの優先席を設けている。そこにコンセントはあるので、充電器を持参していただければ充電できる。何か良い方法があれば検証していきたい。
- 委 員 : 学校の図書館では図書の時間が教育課程の中に組み込まれており、本を借りる際には、担任か司書がバーコードで本を取り込んでいるが、図書館は自動でできるのか。
- 事務局 : 市立図書館には自動貸出機があり、IC タグを読み取ることで、10冊まで一度に貸出が可能である。
- 委 員 : 学校では担任や司書が貸出を行い、委員会活動で昼休みには図書委員の児童が貸出手続きを行うため、誰が何を借りるかが分かってしまう。将来的には自動貸出が実現すれば良い。
- 事務局 : IC タグは学校図書館の蔵書にも貼付されており、IC タグを読み取るアンテナも 1 台配置しているので、工夫次第では新しい機材無しで自動貸出を検討できるかもしれない。図書館では IC タグシステムを導入して予約コーナーもセルフ化したことで、職員の目を気にせず借りることができることがメリットとなり、予約数が飛躍的に増加した。
- 委 員 : 仕事をされているかたの中には、閉館時間までに図書館に行けない人も多い。図書館の開館時間が長い日があれば嬉しい。
- 事務局 : 中央図書館は水曜日と金曜日、東図書館と西南図書館は木曜日に午後 7 時

まで開館している。桜ヶ丘図書館と小野原図書館とらいとぴあ 21 図書コーナーの開館は午後 5 時までである。船場図書館は、平日は午後 8 時、土日祝は午後 5 時まで開館している。

委 員 : 図書館ごとに開館時間が異なる理由はあるのか。

事務局 : 地域の図書館が、週のうちいずれかは夜間も利用できるようにという考えである。

会 長 : 地域の人たちの利用頻度が少ない館の閉館時間を延長しても経費がかかるので、状況に応じて対応することになる。彩都に図書館を作ってほしいという意見や、駅に返却ポストを設けてほしいという利便性を高める意見があるので、今後検討していただきたい。

委 員 : 子どもが図書館にひとりで行き、本を借りてきて返却を忘れることがある。返却期限を過ぎてからメールや電話で督促が来ることが多いので、返却期日の 3 日前に登録メールにアラートが来る機能があれば嬉しい。

事務局 : マイページからお申し込みいただければ、返却日前日にメールが届く仕組みがあるので、ご利用いただきたい。

事務局より東図書館のアンケート結果について説明

委 員 : 東図書館の駐車場の入り口がどちらか分かりにくいので、看板があれば分かりやすい。

事務局 : 施設管理者に伝える。

委 員 : 先日学生と東図書館に行ったが、非常に見晴らしの良い場所だった。アンケートでは本の場所がわかりにくいという意見があったが、学生はいろいろなテーマごとに本が並んでいて知的好奇心がわく、分かりやすいと言っていた。

委 員 : 子どもの声がうるさいという意見が多かったが、これは逆に子ども連れの利用が多いということを示していると思う。うるささの感じ方は人それぞれであるが、具体的にどういう状況なのか、勉強をしながらの会話なのか、単におしゃべりしているだけなのか。

事務局 : 東図書館のにぎやかエリアには飲食可能なテーブルを 3 つほど設置しており、本を読むなど、ゆっくり過ごす場所として利用されている大人や年配のかたも多い。小中学生は試験前に友達と話しながら勉強したいという理由で、自習室ではなくにぎやかエリアで勉強する子どももいる。話し声が響いているときは職員が注意を促すが、目立つほど多いわけではない。子どもが走り回っている場合には注意をしている。

委 員 : 私の子どもの小さい頃は、図書館では静かにするもので、声を出して良いのにぎやかエリアのような場所がなかった。自分は親として気を遣って図書館から

だんだん遠のいてしまった。幼稚園児が静かにすることは難しいので、静かなスペースとの境があれば、子どもや親も利用しやすいと思う。ただ、これだけ子どもの声がうるさいとの意見が多いと、やはり子どもを連れて行きにくいと感じる。また、にぎやかエリアが多くの人に周知されているかという点、まだ図書館は静かにしないといけないという風に認識されているかたが多くいる。

事務局： 以前から、子どもが声出すため図書館を利用しにくいという声があったので、中央図書館をにぎやかエリアと一般エリアに分けたという経過がある。東図書館もリニューアルして同様にエリア分けを行った。声を出してもよいことを分かりやすくするために、にぎやかエリアという名前をつけているが、限度を超えて賑やかな時は声掛けをしている。図書館は静かであるべきで、小声で喋るだけでもうるさいと感じるかたがいるため、難しい面もあるが、理解を得ながら引き続き多くのかたにできるだけ快適に利用していただけるようにしたい。

委員： 静かにされたいかたもいると思うが、東図書館は見晴らしが良く、子どもが過ごしやすい場なので、その点は大切にしていきたい。

会長： その都度考え続けていかなければいけないテーマかもしれないが、利用者側も理解が必要。PR の仕方や案内の仕方についても引き続き検討していただきたい。

委員： 他自治体の図書館では、地域で子育てを応援する取り組みとして、赤ちゃんも利用者として、泣いたり騒がしくしてしまったりしても、地域みんなで子育てをしましょうというような PR をしている図書館もある。例えば、水曜日の午前中は赤ちゃんが来るというような PR など、図書館からの働きかけも非常に重要だと思った。

事務局： 何十年も図書館を利用されているかたの中には、図書館は静かな場所であると思っているかたも多い。そのため、引き続き周知が必要だと考えている。

会長： アンケートで本が古いとか本を増やしてほしいといった要望があった。資料費は減っていないが、図書館によって配本のルールはあるのか。図書館全体で運営していく必要があるのでは。

事務局： 東図書館はリニューアルした際に古い本を書庫入れし本の更新をしたが、全体まで行き届いてはおらず、まだ古い本が書架に並んでいるところもあるので、引き続き本の更新に努める。

事務局より桜ヶ丘図書館のアンケート結果について説明

委員： 貸出期間を3週間にしてほしいという意見があるが、貸出中の本について、予約がなければウェブからでも延長できることが周知されていないのではないのか。窓口で伝えるだけでなく、貸出券や貸出機の近くにポスターを掲示するなど

周知をはかってはどうか。

事務局： 貸出をした際のレシートには記載しているが、期限延長の仕組みがわかりにくいというご意見とあわせて対応を検討していく。

委員： 利用者としては貸出カードに記載してあると一番分かりやすい。もしくは貸出機や返却機に掲示があれば利用する際に見ると思う。

会長： 貸出券の作り直しは対応が難しいと思うが、掲示があれば分かりやすい。

事務局より西南図書館のアンケート結果について説明

委員： 駐車場は市役所も一律 30 分無料なのか。図書館は利便性の高い場所ではなく車で利用も多いが、車で来館する利用者は 30 分では帰れず結局有料になる。1 時間くらい滞在したいかたもいると思うので、料金を考えていただきたい。

事務局： 本庁の駐車場は現在無料で運営されている。ただ、東部の豊川支所は一定時間を超えると有料である。一律ではないが、多くの公共施設では最初の 30 分を無料としている。しかし、船場図書館のある船場駐車場には無料時間はない。

委員： 中央図書館は市営駐車場を利用するしかない。市営駐車場を利用した場合、図書館までの移動時間と滞在時間を 30 分で済ませるのは非常に難しい。駐車料金が同一でなくても仕方ないが、多くの市民が不満を持っている。

事務局： 船場図書館と中央図書館については駅の近くに立地しており、一定有料の仕組みにして長時間利用するかたには料金を支払っていただくような形にしないと、適正に利用いただけない可能性がある。らいとびあ 21 図書コーナーの駐車場は無料だが、いつも満車だというご指摘もある。駐車台数が少ないのかもしれないが、施設の駐車場にはいろいろ課題がある。

委員： そのあたりは市内の交通、東西の交通や施設間の交通の問題もあると思う。

会長： 箕面市は滞在もできる図書館を目指していると思うが、各委員の意見を聞くと、無料時間が 30 分であることは短いと感じた。

事務局： 駐車場を維持するにも経費が必要になるため、採算の取れるような状況でないとその設備が維持できない。

委員： 西南図書館のトイレの黒ずみは井戸水から水道水に変えたら取れるのか。

事務局： 西南図書館のトイレは水洗に使用している井戸水の鉄分が付着して黒ずんでいる。工事により井戸水から切り替えて水道水に変わることによって鉄分の影響がなくなるため、確認しながら今後きれいにできればと思っている。

会長： 自由記述の意見の中に「挨拶してくれて嬉しい」など積極的なコメントがある。一方で全体を比較すると、回答者数が少ないということもあるが、接遇に関する満足と回答された割合が他館に比べて低いが何か意見はあるか。

事務局： 接遇改善については、施設管理を委託している団体の職員も含めて改善を進

めていく。

委員：利用者の感想としては、西南図書館では必ず挨拶されており、接遇の面では問題ないと思う。

事務局：満足という回答が8割はあるとはいえ他館より低いので、留意していきたい。

会長：西南図書館はフリースペースの居場所づくりも積極的に行っており素晴らしい取り組みをたくさんしているので、よりイメージが良くなることを期待する。

事務局より小野原図書館のアンケート結果について説明

委員：小野原図書館は規模が小さい割には回答数が多い印象である。全館のアンケートをみて、各図書館の特色が出ており、西南図書館は子どものイベントに対するコメントが多く、東図書館は40代、50代の方の回答が多いようにみえる。船場図書館は子ども向けの本より大人向けの本が多いイメージがある。図書館ごとに利用されている年齢層が異なると思うが年齢層に合わせた本の配置をしているのか。

事務局：船場図書館について、特に大人向けの本が多い訳ではない。萱野南図書館から移した本が古いという意見もあったので、その部分の見直しはしているが、偏りは特にはない。大学の外国学部があり、国際交流協会のイベントもあるので、外国ルーツの子どもたちへの支援というところの資料としては、集中的に集める工夫はしている。

事務局：今年度の船場図書館は子育て関係の本を入れ替えるために、その予算を配分している。実際の利用状況で見ると、館によって利用される年齢層に大きな差はない。利用状況に応じて本を移すなどの流動化は図っている。

会長：利用者の層に差がない前提で、各図書館がゼネラルなサービスを提供する形で運用されていると理解した。例えば、吹田市の江坂などはビジネス街に位置しているため、ビジネス関連の本を集中して配架するなど、分業のような運営方法も一方で存在する。ちなみに新刊図書の予約待ちが長いということだが、予約本の購入冊数の上限はあるのか。

事務局：現在は20冊を上限としている。図書館の複本数が出版業界で問題視されたことがある。他に文庫本は小規模書店での主要商品でもあることから、図書館では積極的に購入しない方針で運営している。しかし、利用者からは文庫本が少ないという意見もあり対応が難しい。

委員：参考に、最近の図書館では、既存の蔵書に対して予約の多い本など、特定の本の寄贈を受け付けていることをホームページで公開しているところもある。

事務局より船場図書館のアンケート結果について説明

委員：精神障害のあるかたや感覚過敏のかたには館内が明るすぎるとしんどいと感じる方もいるようだ。図書館は一般的に明るく清潔なイメージがあるが、中央図書館のように大人向けの落ち着いたスペースを提供しているところもある。さまざまなかたが利用することを考慮して、図書館内に異なる雰囲気のあるのは良いことだと思う。これにより、利用者が自分に合った環境で快適に過ごせるようになる。

事務局よりらいとびあ 21 図書コーナーのアンケート結果について説明

委員：漫画本のジャンルは広いが、図書館に配架する基準は誰が決めているのか。

事務局：漫画についても、選書会議の中で職員が選定している。リクエストに基づいて内容を確認し、漫画の賞を受賞しているものや、ドラマ化やアニメ化されたような一定評価がされているものを購入するようにしている。対象年齢は様々あると思うが、幅広く購入している。

委員：学校でも同様に、性的描写や暴力的な描写に配慮して購入している。

日程第 2（案件第 2 号）

令和 7 年度の主要事業について

令和 7 年度の当初予算案の概要説明

- ・子どもの居場所運営事業
- ・西南図書館省エネ改修事業
- ・図書館システム更新事業

日程第 3（案件第 3 号）

その他

東図書館 ボードゲーム講座の説明

会長：その他になれば、本日の図書館協議会を終了とする。